

ASTM規格、レベル3医療用 マスク「アクティブサージカル」

名優が性能試験結果を発表

株式会社名優（社長・山根貴志氏、千葉県八千代市ゆりのき台三一九一）では、ASTM規格、レベル3の医療用マスクでありながら、さらにマスクを介しての二次感染を防ぐ性能を有した「アクティブサージカルマスク」を取り扱っているが、この度カナダの独立系ISO認定ラボ「GAP Enviro Micro

cial Services Ltd.」が行った本製品と他製品のマスク性能比較試験において、注目すべき結果が出たことを公表した。

○このマスク/レスピレータでウイルスをブロックできるか

（カナダ、ケベック州ミラベル発、March 24, 2021）（GLOBE NEWSWIRE）・医療機器会社のi3バイオメディカル（i3 BIOMEDICAL Inc.）は、多数の医療用フェイスマスクとレスピレータを対称にしたウイルス透過

性能の比較結果を発表した。総合的に判断するために、人が一分間に平均で必要な空気量7リットルを基にして、一分間にどのくらいの数のウイルスが吸入されたか、マスク/レスピレータごとの結果が示されている。この科学的データはカナダの独立系ISO認定ラボで実施された高度な実験結果である。

手術用マスク、医療用マスク、レスピレータはすべて米国やヨーロッパの規制基準を満たすために、ウイルスに対する試験の必要はなく、個体粒子（塩粒子など）または細菌（ウイルスの約一〇〇倍の大きさ）に対する試験のみが求められる。米国およびヨーロッパで使用されている微生物のろ過性能の評価試験が含まれる規制基準は現在、北米のASTM 2100及びヨーロッパのEN 14683細菌ろ過効率（Bacterial Filtration Efficiency）（BFE）だけである。ウイルス透過率（Viral Efficiency）

（VFE）の試験で、ウイルスを細菌に置き換えることが認められている。このように標準化されたテストプロトコルでは、空気リットル当たり10のウイルス量が二分間の試験時間だけ要求されているため、二分間だけ使用

したマスクのろ過性能が提供されることになる。

GAP Enviro Microcial Services Ltd.のVFEテストは、同じプロトコルに準じて、NIOSHの推奨する吸気抵抗85Lpmで様々なマスク（手術用マスク、医療用マスク、ASTMレベル3、CEタイプII、KN95マスク、FFP24マスク）につき、三分間で試験が実施された。試験はプロトコル要件に従ってマスクのフィルタ素材についてのみ行われた。

試験結果では、一分間のウイルス吸引量で、マスクを透過し吸入したウイルスの個数がアクティブサージカルマスクでは二八三個であったのに比しN95/FFP2でも三七六五七個、その他製品ではいずれも十万〜十八万個数えた。

Matuda

縫合針、縫合糸、各種
針付心臓用から、0.05mmマイクロまで

松田医科工業株式会社

文京区湯島2-13-4 ☎3814-8911

SIMAX 研究実験用ガラス製品

